



双葉の園ひがしやま保育園 園だより

令和6年 7月 第52号



この頃の廊下は、なかなかの賑わいです。

走り過ぎたかと思いきや、止める間もなく、べたんと座り込み!?

笹飾りを指さしながら

“ながいのがいいな～” “うーんあれがいい!” “♪おほしさまチラチラ(きらきら)♪” “おほしさまみつけたんだ!” 等々、何とも楽しげな歌声や、かみ合っていないような(笑)はなし声に耳を澄ませてしまい、思わず声をかけるタイミングを逃してしまうことがあります。

保育士がさり気なく置いた📖絵本やロズさんだ七夕の歌が心に残っていたのか、お気に入りの飾りを自分も作ってみようとしているのかな、梅雨空に時折顔を出してくれる星を見逃さず親御様と一緒に眺めたのか・・・と、様々な光景を想像します。

・・・そんな保育士の思いや、ご家庭での親御様との体験が、子ども達のあそびに取り込まれたのでしょう、今年は何のクラスも、いつもより一足早く笹飾りの制作が始まっています。

～ 童心にかえて 親子で楽しむ七夕の日 ～

七夕、保護者の皆様は、どのような思い出がおありでしょうか?

子ども達に人気のお話「ぐりとぐら」でおなじみの絵本作家、中川李枝子先生が下記のように仰っています。

『幼い子が自分の足で歩いて、見たり聞いたり触ったりできる範囲はごく限られています。でも心はどこまでも広がっていきます。想像力さえあれば、空を飛ぶことも海にもぐることもし、お姫様や魔法使いにもなれるし、象にだってなれます。』



保育園の七夕の日は、似通った年頃の仲間と一緒に、夜空に広がる天の川で年に一度繰り広げられる天空ショー、天の川を超えて織姫と彦星の再会が叶いますようにと皆で祈りながら、今しかない七夕のおとぎ話、ファンタジー、空想の世界にたっぷり浸ります。

行事は、古来の伝統に触れ、豊かな感性を育む大切な機会です。その由来を知る等、年齢ごとの様々な“ねらい”をもって計画しておりますが、子ども達の心にどのように染み入り、どんな風に日々の生活に取り込まれていくのか・・・。

どこまでも広がっていく 幼子の心によって、私たち大人も一緒に楽しませてもらうと楽しみにしております。

そして、童心にかえて、お子様と一緒に過ごした“七夕のひと時”が、親御様にとりましても、かけがえのない思い出となりましたら幸いに存じます。

♡ みなさまの願いごとが 叶いますように ♡

園長 越谷 信子

7月の予定

5
12
17
24
26

～ もうすぐ セタ夏祭り ～ 7月5日(金) 16時～18時

もうすぐ、こども達が楽しみにしているセタ夏祭りです。
夏の暑さに負けず、子ども達が元気に過ごせるようお願いを込めて、
今年は、夏祭りを開催いたします。

この日のために、ひかり組さんを中心に趣向を凝らし、準備を進めています。

自分用のうちわ”もみんなで作りました。我が子の作品を手にとっ
てご覧いただきながら、お子様とご一緒にお楽しみいただけましたら
と思います。

社会福祉法人双葉の園 創立93周年記念講演会

2024年9月14日(土) 午前10時～12時

場所：双葉の園保育園ホール



☆ 出欠希望のお手紙を配布いたします。

HAPPY BIRTHDAY

非公開